

令和4年度 第8回 昭島市社会教育委員会会議・要点録

開催日時／会 場 令和4年11月24日（木）午後7時00分～9時00分 庁議室+Web会議
出席者 谷部議長、松本副議長、石河委員、小池委員、小原委員、齋藤委員、
指田委員、二ノ宮リム委員、信國委員、吉川委員
事務局 川崎社会教育係長、来住野社会教育主事

1 開会

＜配布資料＞

- 資料1 第64回全国社会教育研究大会 広島大会 出張報告
- 資料2 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会開催要項
- 資料3 関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会 出張報告
- 資料4 令和5年度社会教育関係団体等補助金 事務局案
- 資料5 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会
当日タイムスケジュール（第2部）他

- ・月間行事予定表（12月）
- ・昭島市教育委員会の事務事業に関する点検及び評価報告書
（令和3年度分）
- ・令和3年度版昭島市における非行少年等の概況
- ・令和4年度青少年健全育成方針
- ・昭島市スポーツ推進委員だより Enjoy!スポーツ!! 第34号
- ・学校部活動及び新たな地域クラブ活動のあり方に関する総合的なガイドライン（案）【概要】

2 報告

（1）第64回全国社会教育研究大会広島大会について（10/26～28）（資料1）

議 長 理事会・総会、全体会、分科会と2泊3日で参加した。来年度は第65回宮崎大会、第66回が茨城大会、そのつぎが岩手大会となることが決まった。今回の広島大会は神戸大会以来3年ぶりの対面での大会となった。全体会では個々のコミュニケーションと団結力という言葉が印象に残った。シンポジウムでは、社会教育活動をする中で、問題解決型と、日々の活動の中から多くの人に参加してもらい、社会教育になりうることを認識した。

関東甲信越静社会教育研究大会の運営資金について、参加されていたところに話を聞いてみたところ、県によって対応がまちまちで、10年前は県から予算が下りたが、今回は予算なし、積立もしていなかったため、協賛金を集めたというお話を聞いた。

(2) 令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第二ブロック研修会について (10/29)

(資料2)

- 議 長 参加した感想をお願いしたい
- 委 員 グループワークの際には楽しく話せた。「あきしま会議」は関心が多かった。
- 委 員 参加者の熱心さを感じた。他市の方から各市で玉川上水の看板があったほうがよいのではないかななどの話題も出た。
- 議 長 第2ブロック研修会には2度目の参加である。立川市の会長といろいろとお話をさせていただいた。研修の中で、立川市独自の「立川市民科」は大変面白い取り組みだと思った。
- 委 員 立川市民科について、子どもたちが何かをする、それを大人たちがバックアップするという点で興味深かった。あきしま会議のことはずいぶん聞かれたが、それよりも、昭島では社会教育委員会会議を月1回やっているということに驚かれたことに驚いた。玉川上水の話題も、近隣市の方から今度開発される予定の地域のことも含め話題にのぼった。
- 委 員 立川市民科の事例を聞いて、学校教育と社会教育が支え合う、学校教育の行事としてではなく、社会に働きかけていくような取組みで、いい経験をしていると思った。社会に出てよい糧になり、役に立つと感じた。今後の継続も気になるところだ。
- 委 員 学校の事業の時間割の中に「立川市民科」という教科があり、子どもたちが自分たちで探究したいところを見つけ、アポイントを取るなどするもののようだ。教育長からのトップダウンのようではあるが、とても印象的だった。グループワークでは、学芸大の学生さんのお話の中で、地域の中で活動を計画したが、地域の特色を知らないで計画を立てたことによって難しくなってしまった体験も心に残った。

(3) 第53回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会について (11/10・11) (資料3)

- 議 長 記念講演で挨拶やコミュニケーションが大事であると話されていたのが印象に残っている。詳しくは資料をご覧ください。休眠預金等活用事業の話などは関心があり、あきしま会議などでも活用事例があるかなど聞いてみたい。
- 委 員 全体会にオンラインで参加した。オンラインは何も問題なく全部見ることができた。とてもよかった。人を大切にするような、またどれだけ自分も努力し周りとの関係をつくるかなど、感動した。シンポジウムもそれぞれの活動を話された後に質問などがあり、リユースの活動については、昭島でもされているが、課題が出たら、さらに人とつながりながら解決を探すなどのお話だった。かえる舎の活動も面白く特徴的な活動だった。どのお話も人とのつながりを大切にされていると感じた。
- 委 員 ぜひ「ババラボ」で検索してホームページもご覧いただきたいが、シニアが活躍できる場(職場)づくりのカギとして4つ、「曜日を限ってオープンする」「出入り自由」「孫連れ、夫連れ出勤可能」「超ワークシェアリング」あげられた。特に「超ワークシェアリング」では、すべての作業に対し、シニアの方々に給料を支払っている。今はチラシを折ることができても、そのうち出来なくなってきたとしても、ちがう仕事をお願いし、給料を支払うなど、細かいワークシェアリングを行っているとのことだ。

こちらの工房をオープンした当初は、シニアの方々が集まる場所として想定していたが、30代～40代の子育て世代の人たちが集まってきたそうだ。なぜかという、その方々のご親戚の高齢者は遠くにいて、自分の子供たちに合わせるができないが、このババラボに来れば、血は繋がっていなくても近所のおじいちゃんおばあちゃんに会え、子供たちが高齢者に褒めてもらって非常に自己肯定感を挙げていた。それで子供たちは、このババラボにいらっしゃる93歳のおばあちゃんに会いたくて来る。また、高齢者の方々は褒めることがとても上手で、たとえテストの点が20点でも「まあ、20点も取れたの！すごく良く頑張ったね」と言ってくれる。子供たちがやってきた結果に対し、褒めてくれる人たちがいるということが、子育て世代の人が集まる要因になっているそうだ。では、高齢者の方たちは、どのようにこの工房を見つけたかという、多くはその方々のお子さんたちからの紹介だそうだ。90歳になってもやる仕事があるという民間の取組ではあるが、シニアがいつまでも働ける場をつくり出している。大変すばらしいと思った。

(4) その他

議 長 第3ブロック研修会に参加したので報告する。紙コップでアニメーションを制作するというワークショップだった。講師の方から、子供たちは感性が豊かであるので、子供たちには基礎技術を教えたなら、想像的才能を伸ばしてあげてほしい。つまり、解決をすぐに求めないで、方向性を示すことが子供たちの教育の中では大事であるとお話があった。そのあと、日野市の「まなびあいプラン」について紹介などがあった。参加人数は他ブロックと比べ少ない印象である。

委 員 青少年問題協議会の分科会として、11月8日に第1回青少年健全育成方針検討委員会があった。3年ごとに見直しをしてきたが、「昭島市子ども・若者未来対策推進計画」に合わせ、今後は5年ごとの見直しとなるような話である。

3 議 題

(1) 令和5年度社会教育関係団体補助金事務局案について（資料4）

※事務局より資料の説明

議 長 社会教育関係団体の補助金は、昭島市社会教育関係団体補助金交付要綱に基づき、「社会教育委員会議の意見を聞いて、補助金交付の内定を行い、補助金額等を内示するものとする。」となっていることから、事務局案についてご意見があればお願いしたい。

委 員 「生涯学習校区協議会」は活動がないのか

事務局 これまで3つあった生涯学習校区協議会は、現在いずれも活動していない。

議 長 その他、ご質問・ご意見なければ、承認ということでよいか
(異議なし)

(2) 令和 4 年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会について (資料 4)

※事務局より資料の説明

4 協 議

(1) 第 32 期テーマについて

事務局 本日お配りしている「昭島市教育委員会の事務事業に関する点検及び評価報告書 (令和 3 年度分)」は、毎年作成されるため、今後その中の生涯学習に関する部分について、社会教育委員の皆様よりご意見等いただきたいと考えている。

(2) 市民のニーズを活かす・つなげる あきしま会議について

委 員 前回のあきしま会議で出ていたプロジェクトチームをつくるという案について何らかの対応をしなければならないので、それをどうつなげるかを考えていきたい。2 月までにその計画を立てられるか難しいところだが、3 月に実施するのはどうか。

委 員 3 月でも対応可能とも思う。

議 長 2 月 11 日という案は出ているが、3 月も併せてまた検討したい。

(3) その他

議 長 来年の全国社会教育研究大会宮崎大会の分科会事例発表として、第 5 分科会「社会教育委員の役割というテーマが、「市民のニーズを活かす・つなげる あきしま会議」に合うのではと思い、エントリーをしたらどうかと思うがどうか。これまでもブロック研修会などでも関心が高いものなので、応募したいと考える。

(異議なし)

次回 12 月 22 日 (木) 午後 7 時より 市役所 6 階 602 会議室にて

1 月 26 日 (木) 午後 7 時より 市役所 6 階 603 会議室にて